

ぽぽろ F a x 0 6 - 6 9 6 4 - 0 7 0 4

お申込みは必ずお一人ずつお願いします

## 2016年度 「夏期連続講座」申込み用紙

**申し込み方法**：受講希望講座にをつけお名前・住所・連絡先等記入のうえ、上記の**ぽぽろにF a x**にてお願いします。定員に達し次第閉め切ります。受付後受講票送付とともに受講料郵便振替先をお知らせします。お振込の方は受講できません（振込締め切りは 7月29日）（会員割引～ぽぽろを育てる会会員さんは1割引、当日加入・継続受付あり）\*個人情報は講座関係の目的以外には使用いたしません。

フリガナ	所属	
氏名		
*受講票を送らせていただきますので、 <u>送付可能な住所・番号</u> をお書きください。 〒 -		
電話( )	FAX( )	
携帯( )		
ぽぽろを育てる会 会員（2016年度会費納入済・未）・非会員		
8月	講座名・講師氏名	申込印
3日(水) 午前 10:00~	実技講座 「音楽療法・集団あそび」 守山 好子 氏（元大阪市立特別支援学校教員） ピアノ：田中 英子 氏（元大阪市立特別支援学校教員）	
3日(水) 午後 13:30~	実技講座 「ことば・うた・リズムあそび（リトミック）」 今井 理知子 氏（元大阪市立特別支援学校教員） ピアノ：田中 英子 氏（元大阪市立特別支援学校教員）	
4日(木) 午前 10:00~	通常学級で発達障がいなどを持つ子どもたちも輝ける学級づくり・授業づくり 宮本 郷子 氏（元小学校教員、現追手門学院大非常勤講師、ぽぽろ大東教育相談員）	
4日(木) 午後 13:30~	障がいのある人のゆたかな思春期・青年期 三木 裕和 氏（鳥取大学地域学部地域教育学科教授）	
5日(金) 午前 10:00~	発達障がいと不登校～当事者としての思いと支援～ 嶋岡 すみれ 氏（佛教大学卒、現筑波大学大学院在籍） 青木 道忠 氏（NPO こども・若もの支援ネットワークおおさか理事長）	
5日(金) 午後 13:30~	発達障がいと「読み書き・算数」の苦手を克服する支援 窪島 務 氏（NPO 滋賀大学キッズカレッジ理事長・滋賀大学名誉教授）	

教職員・福祉職員のための

# 「夏期連続講座」

## ご案内

期間：2016年8月3日(水)～8月5日(金)  
全6講座

(午前の部 10:00～12:30、午後の部 13:30～16:00)

会場：大阪市立中央区民センター

大阪市中央区久太郎町1-2-27 TEL 06-6267-0201

最寄駅：地下鉄 堺筋線・中央線「堺筋本町」3番出口西へ徒歩5分



主催：特定非営利活動法人 大阪障害者センター・教育部門

**大阪発達支援センター ぽぽろ**

〒538-0041 大阪市鶴見区今津北1-11-32

TEL：06-6964-0703 FAX：06-6964-0704

e-mail : poporo-hattatsu@nifty.com

## 2016年度 大阪発達支援センターぽぽろ夏期連続講座ご案内

8月		テーマ・講師	内容・講師紹介	受講料(円)	定員(人)
3日 (水)	午前 10:00 ~ 12:30	<b>実技講座 「音楽療法・集団あそび」</b>  守山 好子 氏 (元大阪市立特別支援学校教員) ピアノ：田中 英子氏 (元大阪市立特別支援学校教員)	講師は元大阪市立の支援学校で知的障がいや肢体不自由の子どもたちの教育経験を生かして、現在は音楽療法指導員として障がいのある方やお年寄りの通所施設、障がい児学童保育などで音楽療法や音楽遊びの支援をされています。その中で、特に集団で楽しめる人気の教具や歌、遊びなどを一緒に楽しみたいと思います。たくさんの遊びの「ひきだし」からおなじみのうたや楽器・珍しい楽器等など、いろいろ使います。動きやすい服装でご参加ください。	2,000	30
	午後 13:30 ~ 16:00	<b>実技講座 「ことば・うた・リズムあそび(リトミック)」</b>  今井 理知子 氏 (元大阪市立視覚特別支援学校教員) ピアノ：田中 英子氏 (元大阪市立特別支援学校教員)	通所施設や保育所、支援学校での豊富な実践経験をもとに、子どもの障がいや発達状況を踏まえて、身近なものや廃材を使った手作り教材を紹介します。また「ことば・うた・リズム遊び(リトミック)」を実践を通してていねいに学びます。参加者同士で楽しくいっぱい「あそび」を覚えて職場に帰り、子どもたちとと一緒に楽しめれば幸いです。動きやすい服装でご参加ください。	2,000	30
4日 (木)	午前 10:00 ~ 12:30	<b>通常学級で発達障がいなどをもつ子ども達も輝ける 学級づくり・授業づくり</b>  宮本 郷子 氏 (元大阪府内小学校教員、現在、追手門学院大学非常勤講師)	発達障がいなどの教育的配慮を必要としている子どもたちは、発達・障がい・生活の視点で丸ごと捉え、ていねいに関わることで成長します。配慮を必要とする子どもも、どの子も輝ける学級集団づくりや授業づくりなど、教育実践をもとにお話しします。講師は、小学校・通常学級で31年間発達障がいなどの特別な教育的ニーズをもつ子どもたちの発達保障と、居場所や出番のある楽しい学級集団づくりと授業づくりにとりくみ、現在追手門学院大学非常勤講師として「障害児教育論」を講義。「ぽぽろ大東」の教育相談員でもあります。 共著『インクルーシブ授業をつくる』	2,000	30
	午後 13:30 ~ 16:00	<b>障がいのある人のゆたかな思春期・青年期</b>  三木 裕和 氏 (鳥取大学地域学部地域教育学科教授)	三木先生は、兵庫県の障がい児学校教員として重症心身障がい児教育、知的障がい児教育に携わってこられました。現在、鳥取大学で障害児教育実践論などをテーマに研究されています。『重症児の心に迫る授業づくり』『自閉症児のココロ』『人間を大切にするしごと』『障害児教育という名に値するもの』他著書多数。どうすれば子どもの本当の願いを受け止めることができるのか、理論と経験を通してわかりやすくお話ししてください。	2,000	50
5日 (金)	午前 10:00 ~ 12:30	<b>発達障がいと不登校～当事者としての思いと支援～</b>  嶋岡 すみれ 氏 (佛教大学卒、現 筑波大学大学院在籍) 青木 道忠 氏 (NPOこども・若もの支援ネットワークおおさか理事長)	嶋岡すみれ氏～小学3年生から高校まで不登校、6年生の時にアスペルガーと診断。単位制私立高校を卒業後、佛教大学社会学部に進学。現在、筑波大学大学院 教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻科に在籍。 当事者として伝えたいこと～「発達障がいや不登校について知識を持って必要な対策を講じることももちろん大切なことですが、その生徒がどんな生徒なのか、目の前に向き合っているのはどういう人なのか、という素朴な視点から自分にできる支援をしていくのも大切なことだと思います。また、青木道忠先生には、これまで、私が考え、決定した事にたいして常に味方になり応援してもらえていたことが、とても心強かったです。」 発達障がいの当事者としての思いを、支援されてきた青木先生と共に語って頂きます。	2,000	30
	午後 13:30 ~ 16:00	<b>発達障がいと「読み書き・算数」の苦手を克服する支援</b>  窪嶋 務 氏 (NPO滋賀大学キッズカレッジ理事長・滋賀大学名誉教授)	窪嶋先生は学習障がい、読み書き障がい(ディスレクシア)のアセスメントと指導方法や特別なニーズ教育、登校拒否・不登校児の教育指導、統合教育など幅広い研究テーマにとりくんでこられました。現在は滋賀大学に隣接する地域に拠点となるNPO滋賀大学キッズカレッジにおいて、「安心と自尊心」、子どもの主体的学習を基本に、自己認識と考える力の形成を中心とする指導による居場所と学習支援の場、学習室を本格的に行われています。滋賀大キッズカレッジ方式の指導は多くの発達障がい児の救いになっています。	2,000	50